

議会運営委員会会議録

(令和6年2月13日)

愛南町議会

愛南町議会議会運営委員会会議録

本日の会議 令和6年2月13日(火)
招集場所 議員協議会室

出席委員

委員長	吉村直城	副委員長	尾崎恵一
委員	吉田茂生	委員	石川秀夫
委員	金繁典子	委員	山下正敏

欠席委員

なし

出席委員外議員

議長 佐々木史仁

傍聴委員外議員

議員 少林法子

職務のため出席した者

議会事務局長	本多幸雄	局長補佐	小松一恵
局長補佐	藤本吉信		

説明のため出席した者

なし

本日の委員会に付した案件

- (1) 議会基本条例の検証について
- (2) その他

開会 10時00分
閉会 10時48分

○尾崎副委員長 皆さん、おはようございます。所定の時間となりましたので、ただいまから議会運営委員会を開催いたします。

会に先立ちまして、委員長より一言御挨拶をお願いいたします。

○吉村委員長 おはようございます。日中は暖かくなりましたけれども、朝夕はまだ寒い状況です。コロナも増えているようでございますので、体調管理をしっかりしていただきたいと思っております。

早速、議会運営委員会を招集しましたところ、全委員さんに参集いただきまして、誠にありがとうございます。

いつもながら建設的な御意見を頂戴いたしまして、会を運営させていただきたいと思っております。どうか御協力のほどお願いいたしまして、挨拶と代えさせていただきます。

○尾崎副委員長 それでは早速、協議事項に入っております。

これからの取りまとめ、進行を委員長、よろしくをお願いいたします。

○吉村委員長 それでは、早速でございますが協議事項に入らせていただきますが、その前に、事務局のほうからちょっと一言あるそうなので。

局長。

○本多事務局長 皆様の招集通知には、今年度（令和5年度）の議員研修計画について協議題を挙げておりました。研修の追加について協議をしていただく予定だったのですが、講師側との事前調整の中で、今年度は都合がつかないということになりましたので、今回の次第のとおり、協議題のほうから研修計画についての変更については取り下げさせていただいております。御了承をよろしくをお願いいたします。

○吉村委員長 そういうことでございます。

それでは、早速でございますが協議事項に入らせていただきますが、皆さん、議会基本条例の検証について資料1、資料2、それぞれ熱心な方々でございますのでお目通しされておられると思っておりますけれども、その検証についてを議会基本条例に諮り、議会運営委員会において、この会において検証作業を行いますので、事務局のほうから資料説明を、この1、2に基づいてよろしくをお願いいたします。

本多局長。

○本多事務局長 では、資料説明をさせていただきます。

12月15日に評価シートの提出依頼をいたしまして、1月26日までに議長を除く議員全員の提出をいただいております。

まず、議会資料1を御覧ください。

これにつきましては、評価集計表ということで、議員の皆さんから出てきた意見、評価等について記載させていただいております。それを取りまとめたものでございます。

続いて、議会資料2を御覧ください。

こちらの評価検証シートにつきましては、議員の皆様から出てきた評価点の平均値の小数点第2位を四捨五入した数値を評価点の中に記載させていただいております。また、表の中の評価理由と今後の取組につきましては、先ほど説明いたしました議会資料1の評価集計表から要約したものを記載しております。

以上です。

○吉村委員長 局長のほうから資料の説明がございました。それでは、この委員会におきまして、議会資料2の各項目の評価理由と今後の取組、検討項目について、議会資料1の集計結果を基に検証作業を行いたいと思っております。

それでは早速でございますので、御意見を頂戴いたしたいと思っております。

まず、順番からいきますか。「活動原則及び議会活性化に関する事項」について、御意見をお伺いいたします。

まず、現況及び状況、順番にいきますか。評価の理由の中で現況及び取組状況等、これについて御意見ありますか。

はい。

○石川委員 1、2、3、4、5の中で評価点が一番低い、3.6ということになっていると思うんですが、活動の評価をされていない議員が多いというふうに私は認識するんですけど、5段階評価で2とかつけた議員とかはおるんですか。

○吉村委員長 事務局、分かりますか。
局長。

○本多事務局長 議員それぞれが出された評価点につきましては、議会資料1の評価集計表の中に記載しておりますので御確認をお願いいたします。
以上です。

(発言する者あり)

○吉村委員長 局長。

○本多事務局長 まず、1の活動原則で議会活性化に関する事項につきましては、昨年度も同じく3.6です。ちなみに、2の「町民と議会に関する事項」につきましては、昨年が3.9、3の「議会と行政に関する事項」につきましては、昨年が3.3です。4の「議会及び事務局の体制整備に関する事項」につきましては、昨年が3.9、同じです。最後に、5「その他に関する事項」につきましては、昨年が3.1です。
以上です。

○吉村委員長 金繁委員。

○金繁委員 この評価集計表の1の一番最後、私なんですけれども、2ってつけたの。かなり厳しい点数にはなりました。内容的には進んでいる点が幾つかあって、車座会議ですとか一問一答方式、確かに進んでいる面はあるんですけど、やっぱり高い目標を持って全体を俯瞰して見たときに、やはり厳しい目で見るとまだまだ課題が大きいなという意味で2点にしました。

(発言する者あり)

○吉村委員長 個人的な意見と個人的なこれは各議員の評価の点数ですからあれなんですけれども、ほかにありませんか。

はい。

○金繁委員 おっしゃるとおり、本当に今年度は大きく進んだ、特に一問一答方式の撤廃、それから車座会議、町民の意見をグループごとに聞いてということができたので住民参加もできるようになってきました。大進歩ですね。

すみません、私がさっき言った「俯瞰して見たときに」というのは、実は議会活性化委員会をつくらせていただいて進めてきたんですけども、本来、全国的に多くの議会で行われているのは議会改革なんですよね。議会改革と議会活性化の違いというのは、活性化のほうが改革の前段階ということらしいです、専門家によると。

その前段階は、議会改革にまだ進めていない理由は何かということと2つありまして、1つは一問一答方式ができていない、そして、議会だよりを出していないことが議会活性化のままとどまっているという状態らしいので、ようやくこれができたという意味で確かに大きな、議会だよりはまだ準備段階ですけども、この期で活性化が完成しようとしている、そして、次のステップでいよいよ全国的な議会改革に踏み入ることができる状況になってきたという意味で、だから、全体としてももちろん進歩はあるんですけども、俯瞰して見たときに議会改革にはまだ踏み込んでいないという意味で、ほとんどまだですという評価にさせていただきました。御理解いただけたらと思います。

以上です。

○吉村委員長 はい。ほかにありませんか。

ないようでしたら、今後の取組も併せて意見はございませんか。検討項目が書かれているところもあるんですけども。

金繁委員。

○金繁委員 今後の取組が5つありまして、どれもとても前向きで具体的なポイントだと思うんですけども、じゃあ、これを残りの1年で取り組むのかどうかというのはどうしたらいいんですかね、その決定というのを。

○吉村委員長 はい。

○石川委員 今、各評価シートに基づいて1から5まで評価していますので、まとめの段階でその意見を言っていたらと思いますが。

○吉村委員長 今、意見が出たんですが、どうしますか。項目ごとに今言う検討項目をまとめるのか、今石川議員があれした、一応5番まで全部やって、それで検討項目をまとめるかという提案なんですが、皆さん、どうしますか。1項目ずつしますか、それとも、まとめてしますか。どうですか。

吉田委員。

○吉田委員 1項目ずつやったほうが多分効率的で良いと思うんですけど。私はそう思います。

○吉村委員長 よろしいですか。

(「はい」と言う者あり)

○吉村委員長 そしたら1項目ずつということで、「活動原則及び議会活性化に関する事項」の今後の検討項目、取組、これをどういうふうに対応しますか、5つ出とるんですけども。

一応まとめて報告するようなことになっていますので、どうしますか、これ。5項目ともあれするか、もう皆さんの御意見を頂戴いたしたいと思います。

こういう5項目の検討項目があったというだけの報告では、報告だけではありますわね、確かに。協議会に一応この議会運営委員会のまとめを報告するようになっていますので。どうしますか。

はい。

○山下委員 これ、さっき金繁委員は1項目ごと協議して、最終的な今後の取組について、最初の1番やったら5つあって、それをどうしますかという協議をして、次の2番はまたそういう順番でいくって言ってはったんやろ。

○山下委員 それでいったらどうですか。1番をまずやって、多分ずっとないと思うんで。

○吉村委員長 1番いうのはこの、最初の、1番やろ、これやろ。だけん、言うたやん。この5項目をまとめるいうか、1項目ずつ・・・進行は。

(発言する者あり)

○吉村委員長 そういうことで1項目の。順番にいきますか、上から。

政策提言できる調査研究体制の整備。検討項目に出とるんですが、これについて、全部まとめるよりもこの1項目の中でこの5項目を。これどうしますか。調査研究体制の整備。

はい。

○金繁委員 これいろんな方法があるかと思うんですけど、すぐに私たちがあれをしたほうが良い、これをしたほうが良いという議論をするのは難しいかと思うので、ほかの議会でどういうふうになっているのか。例えば今まで講師で来られた先生の中から、例として情報源としての例えば新聞社のデータベースとかを、有料のものなんですけれども使えるようにするとかいうことも提案があったんですけど、それはたくさんある中の一つの方法だと思うんですが、ちょっとこれは漠然とし過ぎていて、どういうものがあるのかという調査を事務局のほうにしていたくっていいことはどうでしょうか。

ただ、優先順位からして、これから後からもたくさん出てくるので、今は事務局にお願いするということを決めてしまふんじゃないかというリストを作る

ようにしておいて、後で全体を見て優先順位で、もうあとは残り1年なので、今期ではこれは無理とかできるとかいうふうに振り分けていくっていうことにしたらどうかと思うんですけど、どうでしょうか。

○吉村委員長 はい、どうぞ。石川委員。

○石川委員 具体性に。私ちょっとイメージができない項目もあるので、一度今後の取組について、書かれた議員に確認していただいて、具体的にどういうことを要望されて、どういうことをやりたいのかということ、一回返してもらったほうが、私ちょっと。

一番上なんか、調査研究体制の整備というのが、どこのレベルでどういうふうに何をっていうことをイメージができないので、一回私は議員に返して、議員から具体的にこういうことをやっていきたいとかいうことを返していただいた上で決めていったほうが、具体的に書いている部分については分かると思うんですけど。これ一番上なんかイメージがちょっと、皆さんできるのかなと思って。ここで決めると言ってもですよ。

○吉村委員長 今、石川委員からも意見が出たんですが、事務局、これは一応今日まとめて次の全員協議会で報告する予定やなかったんかね。

局長。

○本多事務局長 今日協議をしていただいて、その協議結果をもう一度議会運営委員会のほうで諮る機会を設けたいと思っております。その後、全員協議会のほうで報告という運びになるかなと思っております。

以上です。

○吉村委員長 分かりました。そういうことなので、どうですか、今は漠然とした方向で、特に1番の部分は。なんですが、金繁委員からは、事務局のほうでちょっとという話も出とったんですが、どうですか。どんなもんですか。

はい、吉田委員。

○吉田委員 多分まとめの中でこれを具現化していくのはなかなか難しいことで、これは全員協議会の中で、今後の方針を含めていろいろ話し合いをしていくわけですから、その中で具体的に、例えば政策提言ができる調査研究の体制については、どこから資料を取ってくるのか、どういう例えば教授から、いろんな講師からいろんな意見を聞くのか、これは年間で決めていくべきことなので、ここの取組については検討項目として、調査研究体制の整備というのがちょっとはっきりしないのであれば、基本的には政策提言の深掘り化ということでもいいと思うんで、とにかくレベルアップをしていきましょうという提言でしょうから、ここについてはこういう内容でとどめておいて、具体的には全員協議会等々で話し合いをして、どういうふうに進めていくかというのを今後話し合いをしていけばいいので、ある意味ではここで具現化するのはちょっと難しいような気が私はします。

○吉村委員長 ほかに御意見ありませんか。

山下委員。

○山下委員 私も、これはデータでこういうデータがありましたという報告なので、これはもうこれでこのままで、別に全員協議会で今度こういう報告がありましたいうてまた全員協議会でこの内容を深く協議したら、ここでなかなかできんでしょう。

以上です。

○吉村委員長 尾崎委員、どうです。その方向でいいですか。

○尾崎副委員長 私もこの評価シート報告書上はこれで十分やと思います。内容についてはまた全員協議会等で意見を聞いて、みんなが意識統一なり、今後の取組をそこで考えたらええと思うので、評価シート上はもうこの表現でいいと思います。

○吉村委員長 そしたら、この件に関してはそういう方向性でよろしゅうございますか。

(「はい」と言う者あり)

○吉村委員長 吉田委員。

○吉田委員 確かに評価点が低いのがちょっと気になったんですけども、結構一番最初にここメインでいろいろ議会で聞いていますので、この評価点を変えることはできないんですね。

○吉村委員長 もうこれは集計しとんのやけんね。

そしたら、今後の取組の、いわゆる今1番で止まっていたんですが、全てはそういう方向でいいですか。

(「はい」と言う者あり)

○吉村委員長 それでは次に、資料2の6ページ、町民と議会に関する事項。

評価点は3.8ということで、去年より評価が0.1下がってはいるんですが、どうですか、ここの今後の取組も併せて。

○山下委員 先ほど言うたように、議員に対して全員の報告なんで、もう1から5までもう全てそれでいいですよ。

○吉村委員長 皆さん、どうですか。そういうことでよろしゅうございますか。

(「はい」と言う者あり)

○吉村委員長 それでは、次に8ページ、議会と行政に関する事項。

評価点は大分上がってますね、去年から比べたら0.4上がっています。これもよろしゅうございますか。

(「はい」と言う者あり)

○吉村委員長 一応そのような状況で、ほかに御意見はございませんか。ないですか。

(「はい」と言う者あり)

○吉村委員長 次に、議会及び事務局の体制整備に関する事項。

評価点が3.9で、昨年と同じです。これもよろしゅうございますか。

(「はい」と言う者あり)

○吉村委員長 御意見は別にございませんか。

(「はい」と言う者あり)

○吉村委員長 そしたら、そういうことでまとめのほうをもう一回。次回これ、日程的にもう一回、次の議会運営委員会ですって言うたかな。

局長。

○本多事務局長 今回の予定では、29日の議会運営委員会の中でもう一度この評価について確認をしていただいた後に、その後の全員協議会の中で報告をさせていただきたいと考えております。以上です。

○吉村委員長 そういうことでございますので、御意見は別段ございませんか。

金繁委員。

○金繁委員 すみません、確認なんですけど。そうしたら、これ、次回の全員協議会で、じゃなく。いつかはいいです。

今後の取組というか、検討項目については、全員協議会で一つ一つ検討していくということでもよろしいんですかね。検討事項として挙げられているものについて、全員協議会で今後、残された1年間で議会として取り組むかどうかということは検討するということがいいですか。

○吉村委員長 委員長おるんで、去年はどういうやり方でやったっけ、全員協議会で。報告だけやなかった。

○山下委員 報告だけやったと思う。

局長、前ははまだ・・・やってんけど、報告をして、取組のほうは何点か出したんやけど、その取組について全員協議会で協議ってどうしますかというのは、ちょっとした記憶がないんやけど。どうやったんですかね。

○吉村委員長 局長。

○本多事務局長 前は、具体的にそういった協議はなかったかもしれませんが、この議会運営委員会の中でそういった御意見があるのであれば、次の全員協議会に諮って、実際そういった協議をするかどうかについてはもう一度諮っていただければと思っております。
以上です。

(発言する者あり)

○吉村委員長 石川委員。

○石川委員 先ほども言いましたけど、具体性に欠ける取組内容については、やっぱり一度、それであればもう一回議会運営委員会で、全員協議会にこういう形で、次の議会運営委員会で決めるにしても内容が理解できないと判断しようがないと思うんですよ。

だから一度、取組内容を書かれた議員に一回返して、具体的にどういうことをしていきたいか、要望があるのかというのを回答いただいたほうが、次の議会運営委員会で判断しやすいというふうに私は考えますが。

○吉村委員長 暫時休憩します。

(休憩)

○吉村委員長 それでは、休憩を解き、再開いたしたいと思います。

いろいろ議論百出出ましたけれども、一応この状況の中で全員協議会に報告させていただき、また、全員協議会の中で意見があれば、またそこであれしていくということで、一応これについては終わりたいと思いますが、御意見ないですか。

(「なし」と言う者あり)

○吉村委員長 なければ、これでこの件は終わりたいと思います。ありがとうございました。

次にその他なんですけど、まず、さっきちょっと局長のほうから触れましたけれども、一応3月1日の議会運営委員会を予定しておったんですが、これ2月29日に変更ということでございます。

それと一点、前後します、申し訳ありません、さっき意見にも出とったんですが、前の議会運営委員会でもありましたし、ここの検討項目の中にありましたけれども、臨時会の議案について事前に十分内容をという意見が前回のあれでも出とったんですが、これちょっと協議してもらいたいんですが、私も気にはなとったんです。

御承知のように、趣旨はよう分かるしあれなんですけれども、例えば臨時会もそれぞれ例えば別に説明も要らん簡単な臨時会もあるんですよ、内容によりけりなんですけど。その辺をどうしますか、一律臨時会も、いわゆる意見出とったように、金繁委員からも出とったんですけども、ここにもありますが、これ前もって説明要りますか、一律全部の臨時議会が。ちょっとそれだけ諮りたいんです。

吉田委員。

○吉田委員 臨時議会も議場で議論ができるわけですから、事前にそこまで必要が僕はないと思っています。議場で議論をすれば十分事足りるんじゃないかなというふうに思います。表向きはちょっと別にしまして。

○吉村委員長 金繁委員。

○金繁委員 私は、事前に情報をしっかり集めて本会議で議論が初めてできるのであって、直前に出されても資料収集が不十分で、本会議で十分適切な審議ができないという案件もあると思います。

例えばこの前の教育長の職務代理に関する条例などは、やっぱり今の現状がどうかという資料も出してもらわないといけなかったですし、職務代理者に今回就いている方、就任された以後に規則が実はできていて、その規則は見せてもらえない状況で判断せざるを得なかった、本会議でそれが分かったという、私はもうびっくりしたんですけども、やっぱり事前だったら、そういう規則をつくりましたと、教育長の給与は月平均にしたら73万円ですけども、規則

によって3分の2を委譲しましたので3分の1にいたしますという説明があったら、本会議で適切な判断ができたと思います。

ですので、実質的な議論をして、町民のために適切な判断をするには、やはり前日とか前々日ではなくて、少なくとも数日、1週間とかできれば取っていただきたい。情報公開請求したら、早く出していただけたら数日で出してもらえることもあるのですけれども、全員協議会で説明していただければ、その場で求めてその場で出してもらえるということになりますので、ぜひそれはお願いしたいと思います。

○吉村委員長 そういう意見も出ましたんですが、これどうですか、吉田委員からも出たんですけども、ちょっと触れましたけれども、例えば臨時議会全てがではなくて、例えば報酬の簡単な分もありますよね。当日の朝30分前に議会運営委員会をやって、それで臨時議会に臨むというやり方を今までは踏襲してきた部分もあるんですけども、内容によって、これはもう委員長が判断ということにしますか、それとも、全てを。そこまでは、全てまでは要らんのやないかなとは思いますが。

はい。

○金繁委員 全てという場合の、例えばこういう簡単なものだったら要らないんじゃないかという例は、例えばどういうものがありますかね。

○吉村委員長 例えばいうたら、臨時会でいうたら入札、大きい入札やなしのとか、ベースアップ、条例変更、あれらはある意味でいうたらそんなに、難しいって言ったらおかしいけれども、委員長判断で状況によって、これちょっとあれやけんって、委員長いうたって独断やないんで、御承知のように議長の諮問機関なんで、議長と相談してという方向でどうですか。

(「いいです」と言う者あり)

○吉村委員長 はい。

○金繁委員 確かにベースアップで法律が変わったので行政、愛南町も規則を変えます、条例を変えますっていう場合には、確かにそれでもいいかなとは思いますが、それを全てについて委員長判断というのは法的に大丈夫なのかなというのがちょっと気になって。というのは、やはり議会運営委員会というのは、議会運営に関する委員会で合議体ですよ。なので、合議体で検討するのが必要になるんじゃないかなと思いたすけれども、事務局、どうでしょうか。

○吉村委員長 局長。

○本多事務局長 ちょっと休憩よろしいでしょうか。

○吉村委員長 暫時休憩します。

(休憩)

○吉村委員長 休憩を解き、再開いたします。

先ほどの件については、一応全員協議会で報告だけはして、また御意見を求めたいと思いたす。

そういうことで、ほかにございませつか。

(「なし」と言う者あり)

○吉村委員長 ないようでしたら、これにて議会運営委員会を閉会いたしたいと思いたす。御協力ありがとうございました。

委員長